

緑化だより

No.186 令和4年9月号



カエントケ

- 季節の花(ヒオウギ(ぬばたま))
- 水生昆虫の話(へビトンボ)
- 小さな世界こけ
(コマチゴケ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

ryokka 遊学の森

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2



広島県
緑化センター
二次元コード

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>

季節の花

ヒオウギ(ぬばたま)

「居明(いあ)かして 君をば待たむ

ぬばたまのわが黒髪に 霜はふるとも」

磐姫の皇后(いわのひめの おおきさき) 万葉集 巻2-89

これを訳しますと

(あなたが、来られるまで夜通しお待ちしています。

たとえ、私の黒髪に霜が降りて白く(白髪)なるまでも。)

磐の姫皇后(いわのひめ おおきさき)は古墳時代(401年～500年)前半の頃、仁徳天皇(天皇第16代)の妻です。

仁徳天皇は、民衆のための政治を行い、人々から信頼されていましたが、好色なため、嫉妬深い磐の姫皇后は天皇の女性関係に悩まされていたことが、古事記や日本書紀に描かれています。

この歌は天皇の浮気に嫉妬し、激怒のあまり宮を飛び出し、知り合いの邸宅に移ったのですが、迎えが来るのではないかと、いつまでも待っている切ない気持ちが詠われています。

ヒオウギ(檜扇)はアヤメ科、アヤメ属の多年草です。最近までヒオウギ属でしたが、DNAの系統解析からアヤメ属と区別できないことが分かりました。日本では本州、四国、九州の山地の草原に自生し、国外では朝鮮半島、中国、インドに分布しています。茎の高さは60～120cm、葉は厚みのある白緑色で、剣状の葉が何枚も重なり合っています。

花は、8月頃に花茎を伸ばし、オレンジ色で内側に濃い紅色の斑点のある6枚の花弁の花をつけます。午前中に咲き夕方にはしぼむ一日花です。晩秋には果実を実らせ、種子は4mmほどで黒くて光沢があり、ブラックベリーのようなです。

檜扇(ヒオウギ)の名前の由来は 葉を広げた形が、宮中で使う薄いヒノキの板でつくられた扇を広げたような姿からきており、別名の烏扇(からすおうぎ)は、種子が黒いことからです。

万葉名のぬばたま(射干玉)は黒い種子のことで、「黒」、「夜」、「髪」にかかる枕詞です。

ヒオウギの栽培の歴史は古く、観賞用として親しまれている植物です。

京都の祇園祭や大阪の天神祭では、床の間や軒先に飾る花としています。

園芸品種も多く、最近では花付きがよく、草丈が短い(50cmぐらい)「ダルマヒオウギ」が生け花や茶花として、よく利用されています。(上村)



ヒオウギ



ヒオウギの種子

水生昆虫の話

ヘビトンボ

ヘビは爬虫類、トンボは昆虫。え？一体何なの？どんな生きもの？と思ってしまう不思議な名前のヘビトンボ(蛇蜻蛉)の成虫は、翅を広げると何となくトンボのようにも見えるのですが、トンボの仲間ではなくアミメカゲロウ目に属する昆虫です。夜行性で、夏の夜に街頭や自動販売機の灯りに集まってきましたが、大きいのでけっこう存在感があります。

この不思議な名前の由来は、指で捕まえるとヘビのように体をくねらせて、鋭い大顎で噛み付い

てくるからではないかと言われているそうです。

あ、確かに噛みついてきますが、万が一噛まれても毒はありませんのでご安心ください。

ヘビトンボの幼虫は、山地から平地にかけての溪流に生息しています。きれいな水の指標生物とされており、緑化センターの溪流でも、石がゴロゴロあって流れのある、落ち葉が引っ掛かっているような場所で、川底の石下を探すと観察することができます。

水のきれいなところでしか見ることが出来ないのも、出会えるととても嬉しい水生昆虫の一種で、その姿は写真のように橙褐色で細長く、水中のムカデのようにも見えるので、川ムカデとも呼ばれています。

体長は 60mm と大きめで、腹部に細毛で覆われた 8 対の糸状突起(気管鰓)があり、強靱な大アゴで他の水生昆虫を捕らえて、丸呑みして食べる肉食系の水生昆虫です。網で捕まえると体を丸めていたりするので、一瞬大きなイモムシかと見間違えてビックリしたことがあります。

約 3 年間に川の中で過ごし、春から夏にかけて上陸して土の中で蛹になり、約 10 日で羽化して成虫となります。成虫の寿命は数日～10 日と短いようです。

ヘビトンボの幼虫は「孫太郎虫(まごたろうむし)」とも呼ばれおり、乾燥させたものは子どもの疳の虫や胃腸や肺炎などに効くとされて、漢方薬の材料として利用されていたそうです。本当に効くかどうかは不明のようですが…。

また、カワゲラ同様に「珍味ざざむし」の一種として食用にもされています。

ちなみに、この「珍味ざざむし」はネット通販で購入することが出来るようなので、チャレンジしてみたい方は検索してみてください。(西村)



ヘビトンボの幼虫

小さな世界 こけ

コマチゴケ

溪流の斜面を観察していると、濃い緑色のコケに混じって、明るい緑色で肉厚の丸い葉をしたコケを見つけることがあります。

これはタイ類のコマチゴケで、森林の、谷に沿った日陰で湿った斜面などに生育します。匍匐した地下茎には仮根はなく、地上茎は黄緑色で高さ 2 cm 前後、多肉質の茎が立ち上がります。

葉は 5 mm ほどの広卵形で、左右に 2 列、背面に 1 列つき、中肋はありません。

雌雄異株で、早春、雌株は孢子体を作り始め、4 月中旬になると、透明な長い柄の先に黒い楕円形の孢子のうをつけています。雄株は 5 月頃、立ち上がった茎の先に、花が咲いたような雄花盤をつけます。

名前の由来は、姿が柔らかく優しい印象から、小野小町に例えてつけられました。

雌株の葉の先端付近につける造卵器は、保護する膜はなく、裸出しています。このことからタイ類の中でも原始的なグループとされています。(山根)



コマチゴケ



雌株の孢子体



雄株の雄花盤

研修会のご案内

- 9月 2日(金) 『薬草健康講座』
健康や薬草についての講義です
※自由参加、無料
10:00～12:00 学習室 集合
講師：広島国際大学生涯学習自然園
前園長・薬学博士
神田 博史
- 9月 9日(金) 『秋の七草と自然探勝』
秋の七草について学び、植物を観察します
※自由参加、無料、荒天中止
10:00～12:00 学習室 集合
講師：緑花文化士
横山 直江
- 9月 16日(金) 『9月の自然探勝』
散策路を歩きながら植物を観察します
※自由参加、無料、荒天中止
10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：NHK 広島文化センター
アシスタント 上村 恭子
- 9月 25日(日) 『秋のきのこ入門観察会』
講師と一緒に散策路を歩き、きのこの解説を聞きます
※要予約(キャンセル待ち)、無料、荒天中止
10:00～12:00 第2駐車場 集合
講師：きのこアドバイザー
川上 嘉章

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するため、
参加者はマスク着用、手・指の除菌、密集・密接を避けるようご注意ください。
また状況によっては、研修内容の変更や中止となる可能性があります。
ホームページ、お電話等で最新の情報をご確認ください。

☆ お知らせ・ご案内 ☆♪

第6回ひろしま遊学の森
四季の移ろい写真コンテスト 応募締め切り 11月30日(水)
応募作品はひろしま遊学の森で撮影されたもの
一人3作品まで

◎ 展示会

場所:レストハウス
(ボード展示)

ウクライナ絵画展 ～平和への思い～ ～9月19日(月・祝)

(ガラスケース展示)

つづらふじ手作りかご作品展 9月13日(火)～10月23日(日)

場所:学習展示館(ボード展示)

季節の花 写真展 ～9月30日(金)



第5回ひろしま遊学の森
「四季の移ろい写真コンテスト」作品より



過去の「つづらふじ手作りかご作品展」より